

工
乃
每

家

深

子

猪

东

市

因
信





和歌
大
...

十九
...

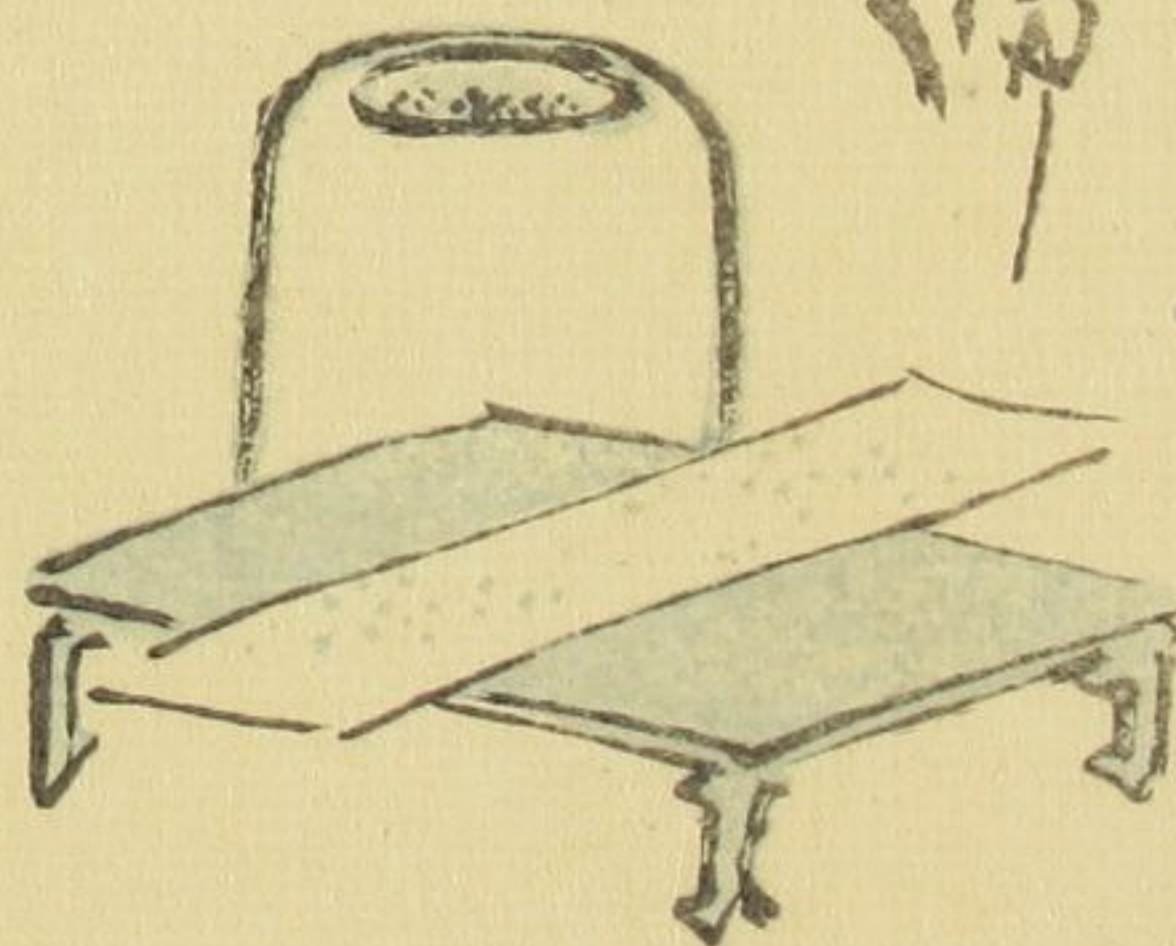
介題曲多國記



足利絹

足利絹

十九篇



足利絹十九篇此序

足利絹十九篇此序

足利絹十九篇此序... 足利絹の織出より... 既小一丈九尺不及び... 頃とあります... 奇なる玉丈を加へて織元の糸と紡ぎ板と細うめ... 浦公英は表に祕光紅紫に鹿ハ秋控搦と申す... 秋好の周縁あり... 于時安政三丙辰季夏脱稿

于時安政三丙辰季夏脱稿
全丁巳陽春癸兌

壹 松亭金水識

足利絹

東_ニ燕石_一而
履_ニ玄圃_一帶
魚目_ニ而遊
漲海_一祇
取_レ詆_耳

天赤一ノ



う_レた_レ手
う_レた_レ手
う_レた_レ手
う_レた_レ手

あ_レぬ
あ_レぬ
あ_レぬ
あ_レぬ

浪士
浦安

波六
後法
亮忠

玄覚法師

外宅
亮忠

於妻

△玄覚法師が
懺悔物
この二十一篇の

曲五國虫

畠山の臣

三條
辻郎



氏仲が室
雁金

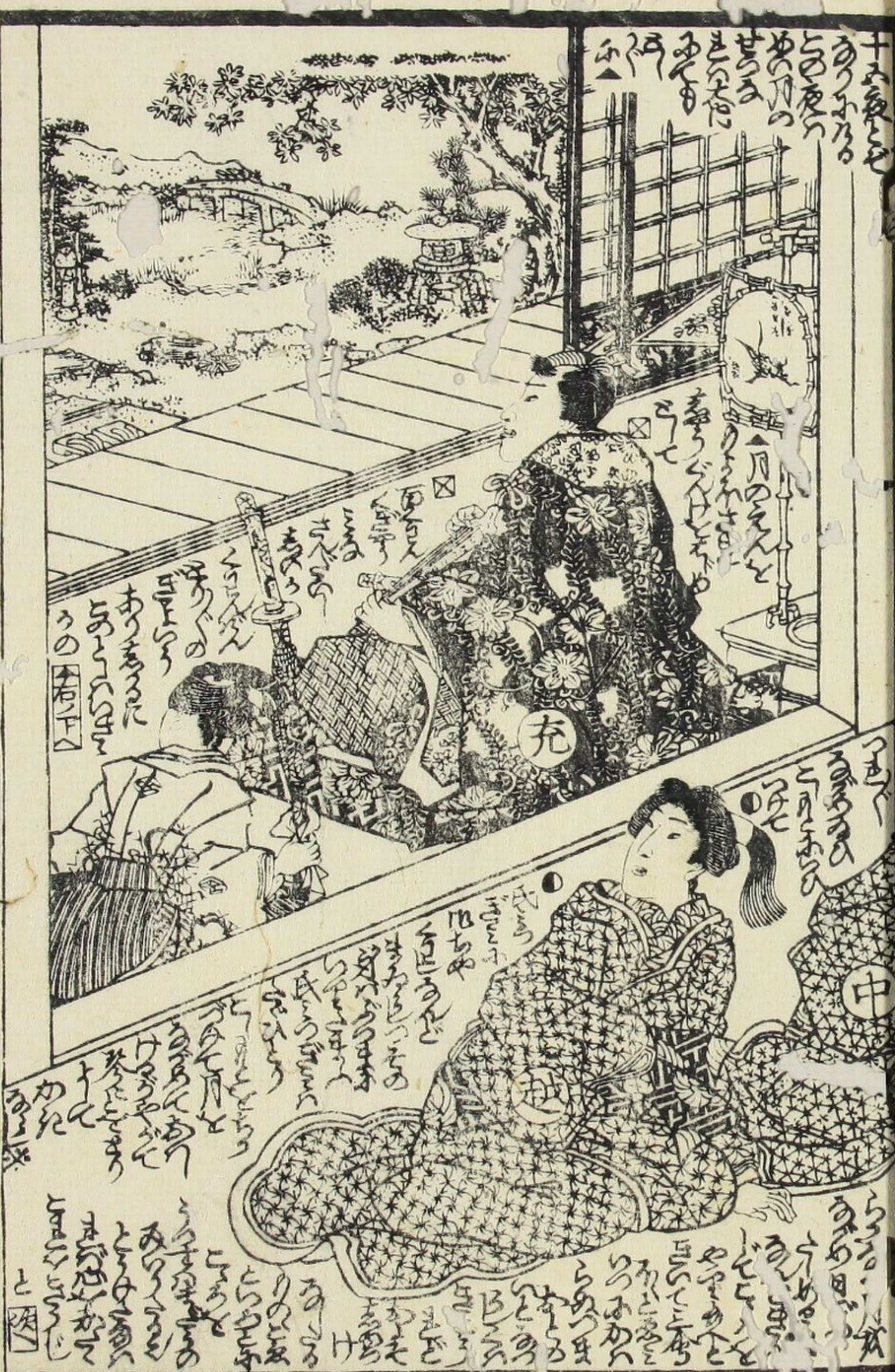
雲井之丞
氏仲

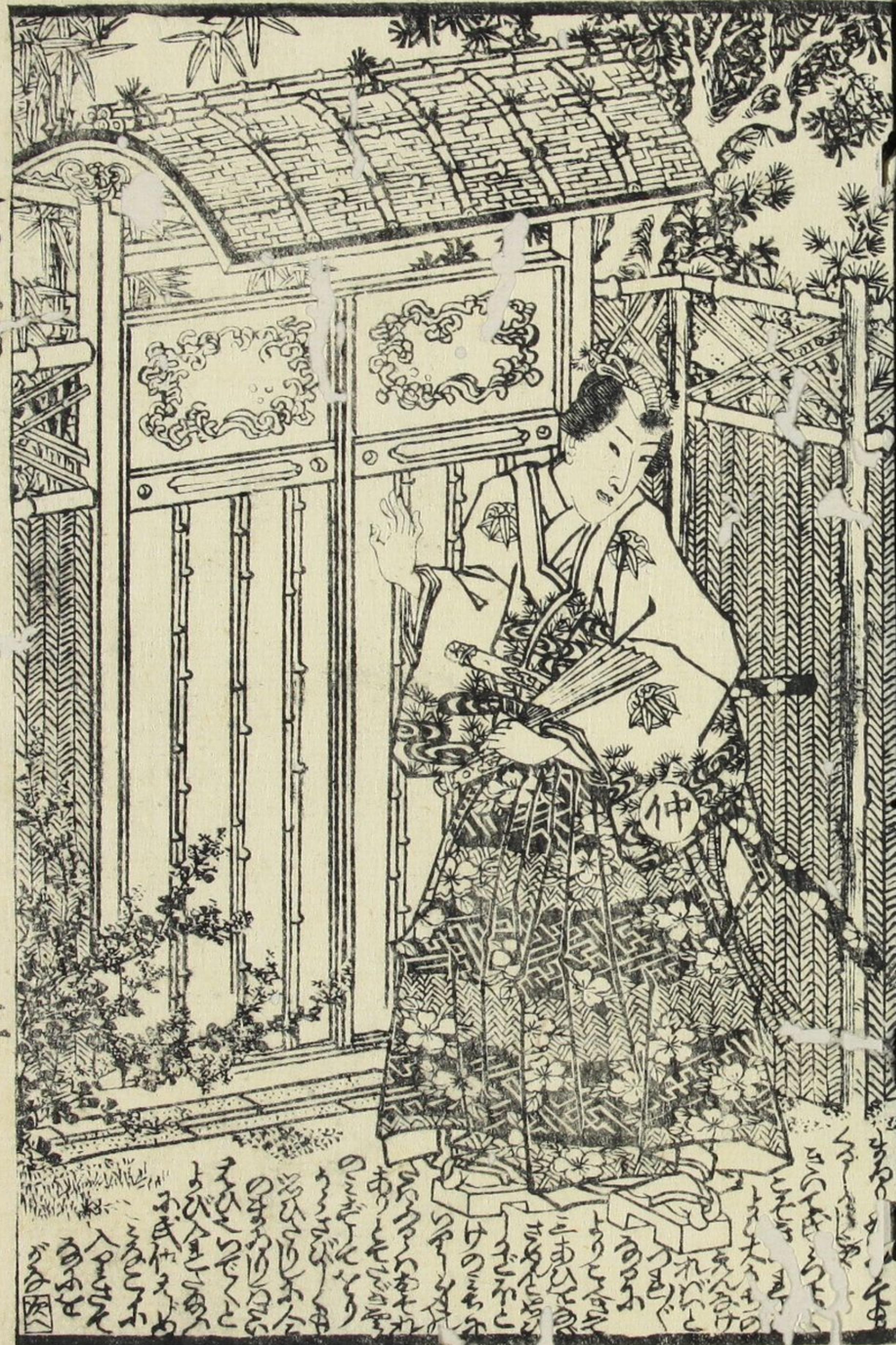


柏之介
八重梅

八重梅が
侍女
小柴

曲子園





阿波七十九

二



北山翁
 此の如く
 申すは
 誠なる
 事なり
 申すは
 誠なる
 事なり
 申すは
 誠なる
 事なり

申すは
 誠なる
 事なり
 申すは
 誠なる
 事なり

北山翁
 此の如く
 申すは
 誠なる
 事なり



北山翁
 此の如く
 申すは
 誠なる
 事なり

申すは
 誠なる
 事なり

北山翁
 此の如く
 申すは
 誠なる
 事なり

己未春錦橋堂新板

寢小便大奇藥 一包代
 三箇代
 田男女とも一色で治る。良方あり

清浄 白妙 一包代
 精製 世二銅
 まろく入用おれは
 白くあつたゆたの

御藥 中固齧散 一包代百銅
 一物けを一うたえ
 一血のうへ一えささるま
 能。用かすうのうあふはくわあひ

庄 地本 錦繪 屋 山田屋庄次郎

女用文玉手箱 中本形 全冊 山東菴京山作

雜鶴笹湯壽 紅摺 大本 一冊 一陽齋豊國画

源氏一猛圖會 全同 撰 冊同 画

紅梅百人一首 半紙本全一冊 女用文章草入

美玉百人一首 日本形全一冊 女用文章草入

金水作



國貞画

あつたゆたの
 白くあつたゆたの
 清浄 白妙
 御藥 中固齧散
 寢小便大奇藥

かろくあ
 かんんを
 ひんえや梅

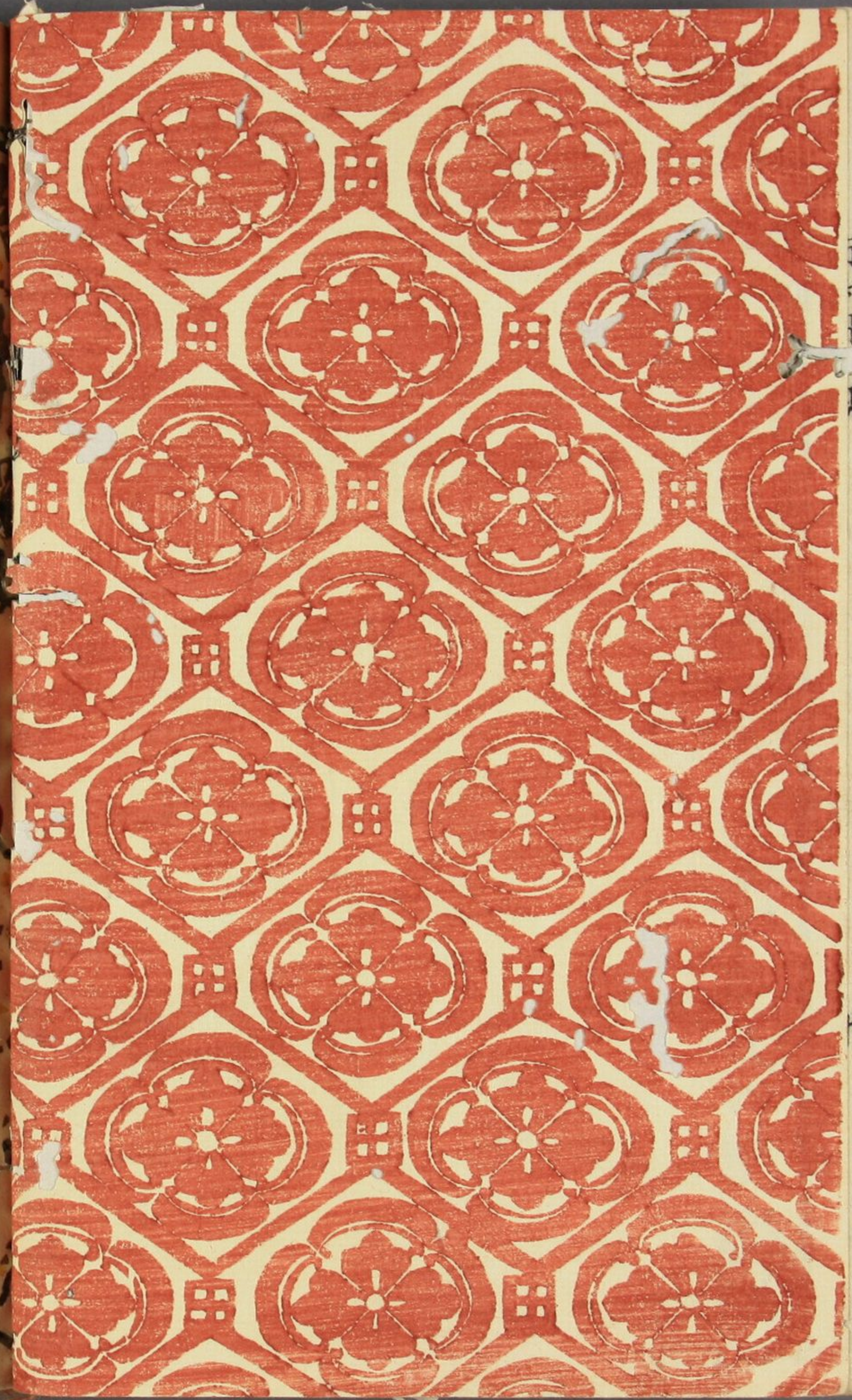
日本形全一冊
 女用文章草入
 半紙本全一冊
 女用文章草入

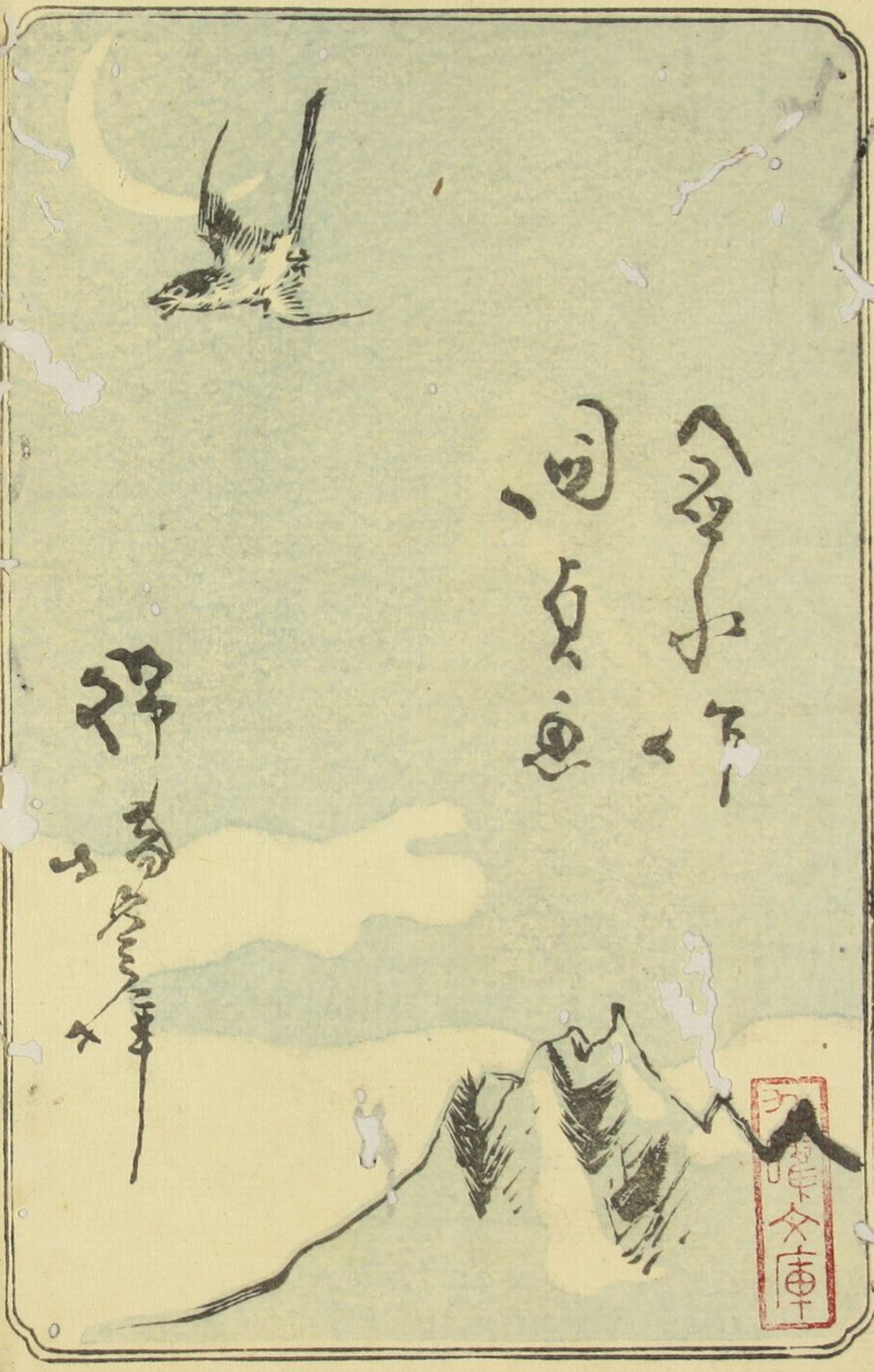
尺本十

十



新和
同反函





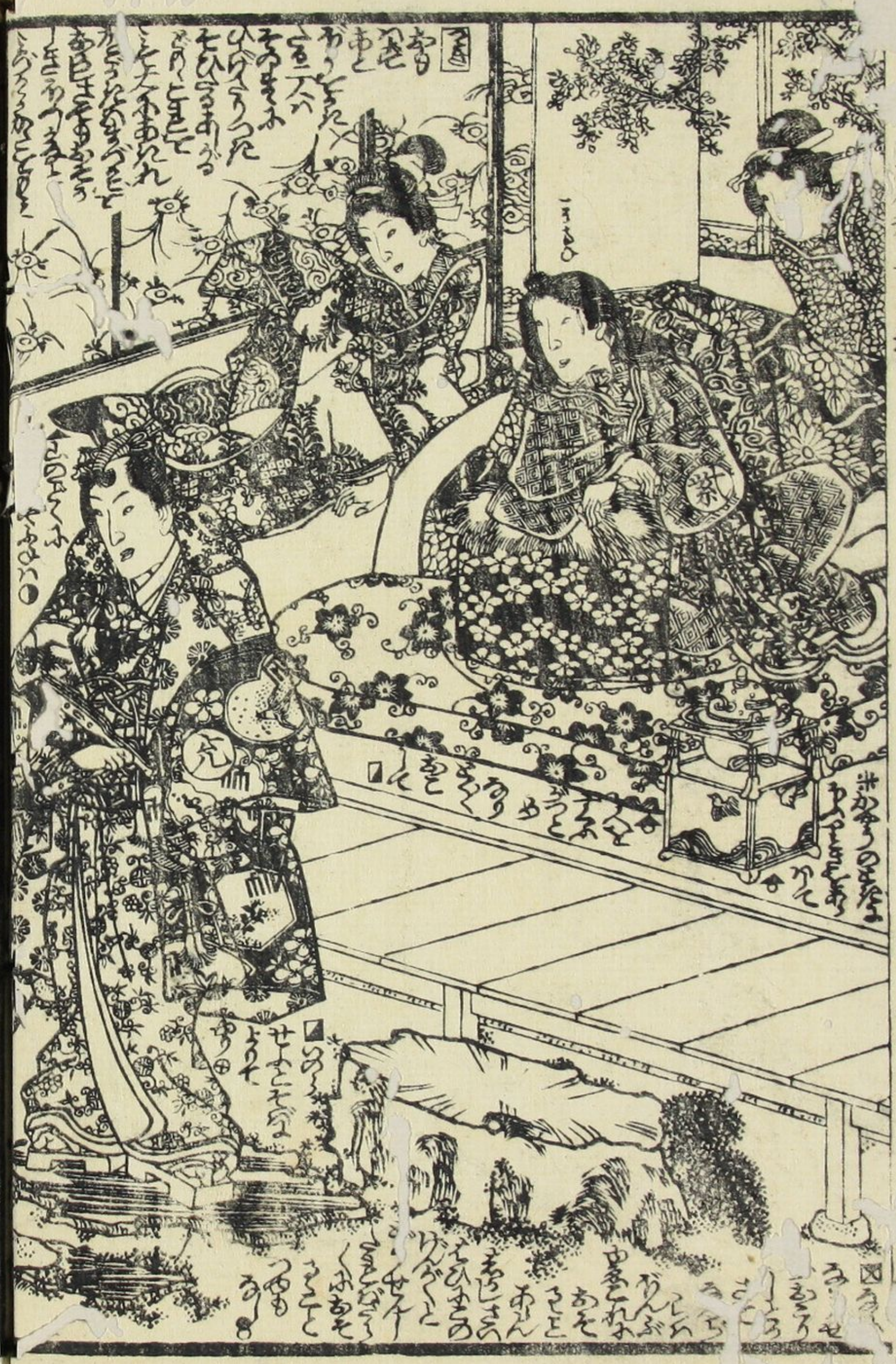
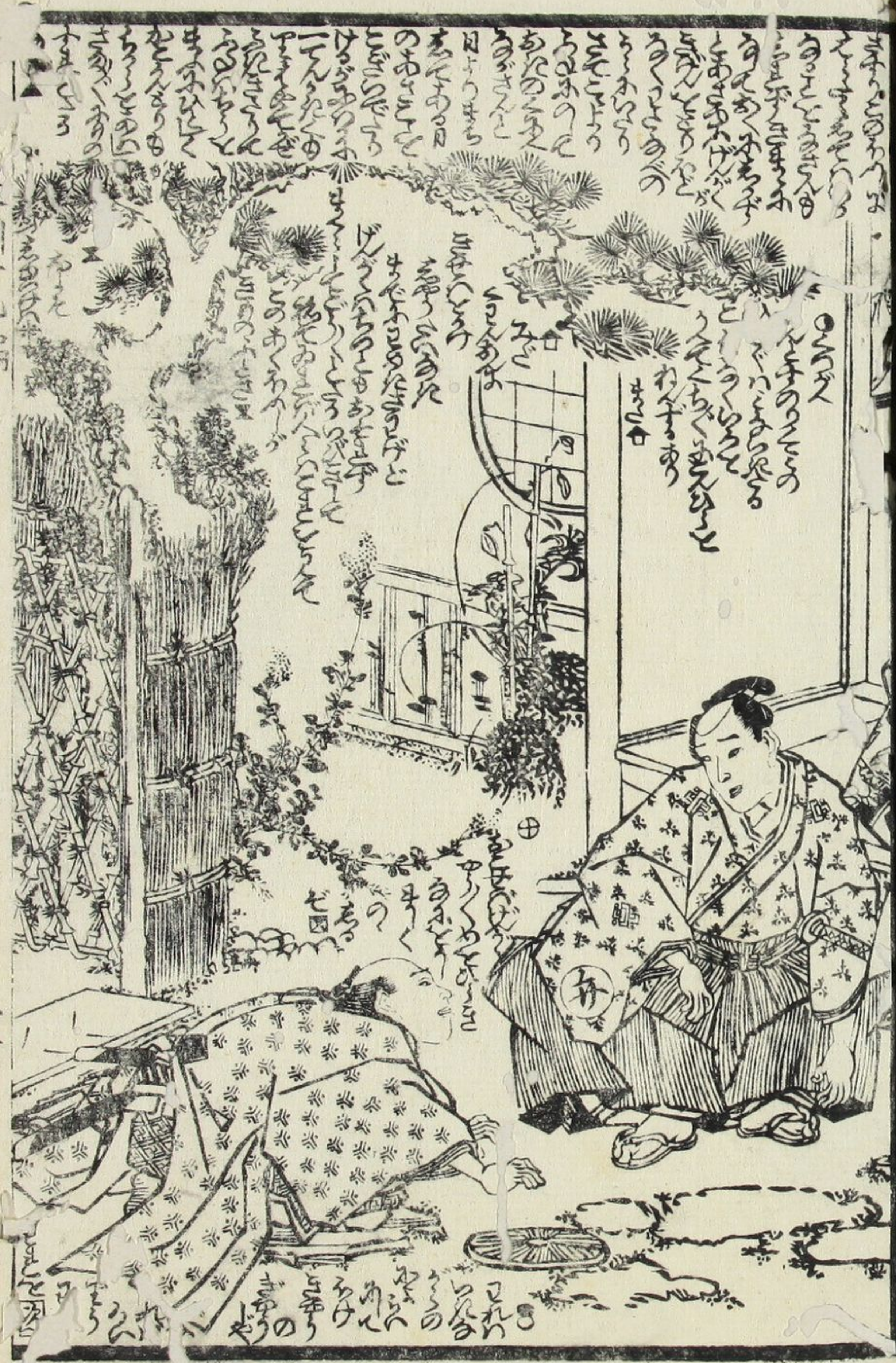
海文庫



九番

九番

十一



三十一

三十一

三十一



Handwritten text in the bottom right section of the right page.

Handwritten text in the top left section of the left page.

Handwritten text in the middle left section of the left page.



Handwritten text in the bottom left section of the left page.

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十

尺木十




尺一...

Handwritten text in the top right section, including names like 'Suzuki' and 'Kobayashi'.

梅葉樓國貞画

▲その夜...



Handwritten text surrounding the illustration, including names like 'Suzuki' and 'Kobayashi'.

松亭金水著

教卓女房形氣

十九編 山東菴京山作
二十編 梅蝶樓國貞画

利備手深紫

十九編 金水作
二十編 國貞画
一名春房
吾妻下

海野 万亭 日記

九編 万亭 應賀 作
十編 孟齋 好寅 画

宮城野 信夫 歌討白石咄

全 孟齋 作
二冊 好寅 画

無病 養生手引草

上 九 翁京山 作
下 立齋 廣重 画

右の人の内から又女の...
又の...の...
む...の...
長壽...
立齋廣重画

金 山田屋 彦次郎

地本 問屋 江戸中橋廣小路

己未初春錦橋堂新板目錄

伊賀越歌討物語

全 孟齋 作
二冊 好寅 画

造紫梅最紙

十編 梅彦 作
揃 芳虎 画

金繪 問屋 山田屋彦次郎



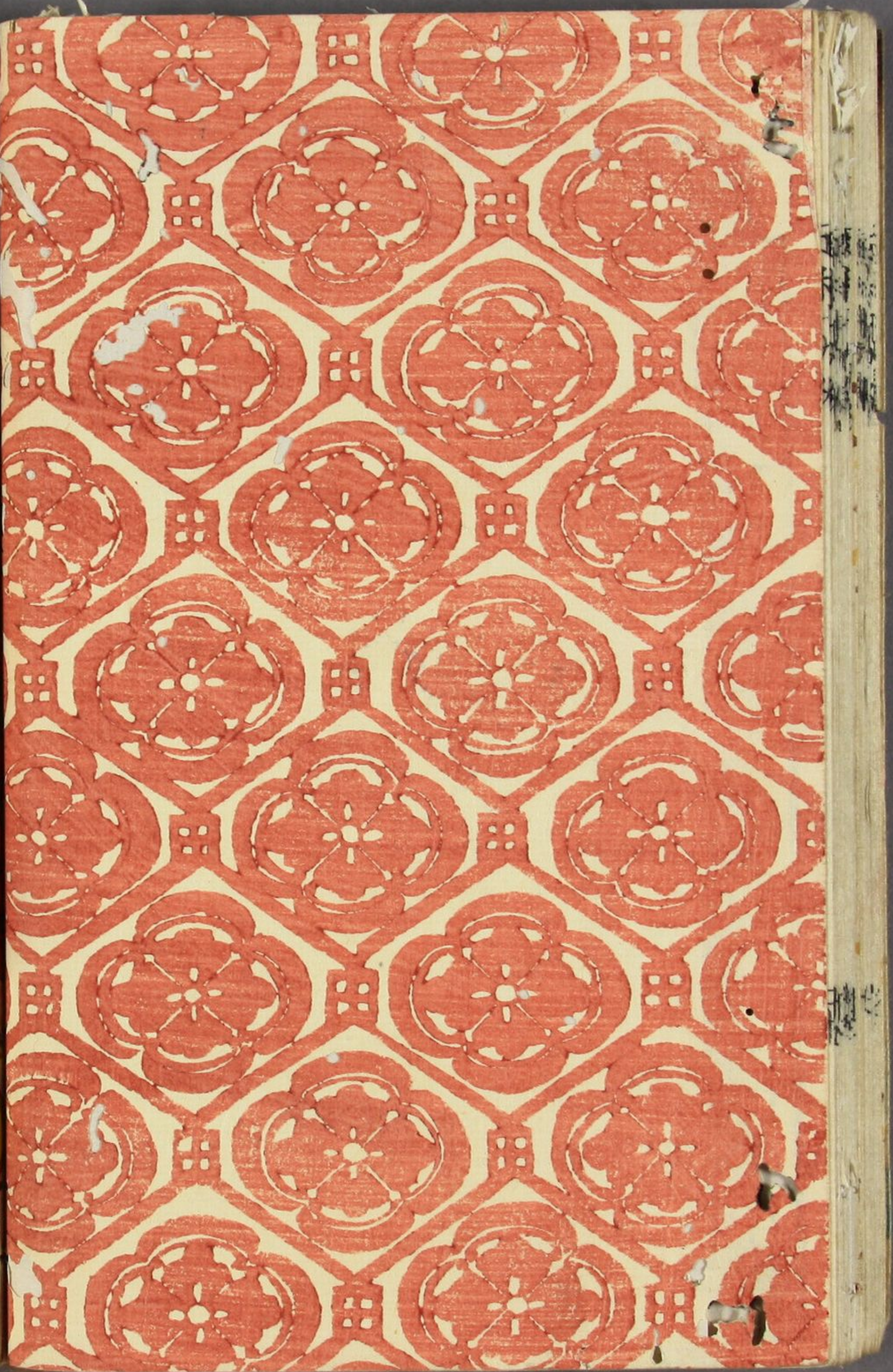
星利坊

茶の深

茶

二十編

上杉



是且利絹と題号して今二十篇のるづくもた巻小書もその本文の
 所謂源氏物語を男子も及ぶぬ世女が文才の巻中み出さる女子十
 人の中にも世の上の婦人少少い貞操も更小兎の毛の末やども
 批判するを所る。その餘の女の多癖あり或ひは解と或ひは癖と或ひは幼く
 或ひは喋り。その類も一室あるはど。その是を及ぶの婦人の情態洩すを
 なるるを後未女子の戒めとせばはまども被ひ文章をく且性古の書に
 方まは癖の之れ解せぬも多う。因て野野ある今様凡流小書かへて
 部處女も忽地小氷解ハツの切ある。まどことと看る擇幼児を処小
 賤の著ハ寡あると。死あるをむるもあつ。その二十篇一部めても。雁金
 その始め執念く忌小後あると。氏仲八重梅と慕ふ小及び新て己が
 其の傍らと出居せんとゆるるは中と明して被が心小も味まる。

子ハ尋常婦女のうふ。向とあるの行るひあり。源氏小乗トて其人と輕
 ちめ。忽地婦人として小失ある。まど八重梅ハ良人小後れ孫とあるは年と
 経の氏仲頻々小懇切と盡けとる。下も容易く靡う。いさく婦人として得
 たりふ似たり。是等と一部の眼目めて。本文の之と失ハと綴る。小今新ある
 戲作と云は相とて。山々の尾端の腔ちと長追する條もある。その決の
 強向と食む。猶二十二の篇を薰大物句文の新程と小至る。一むする
 処高上る。源氏と世都小書倣する。かの雛形や惹州と。可憐
 ありと縁とを。人名の差ひの。看官宜しく供下め。小書厨小収
 める。んと云。作者版元伏して度。

安政三丙辰孟春

松亭金水題



牡丹花
花
軒
号



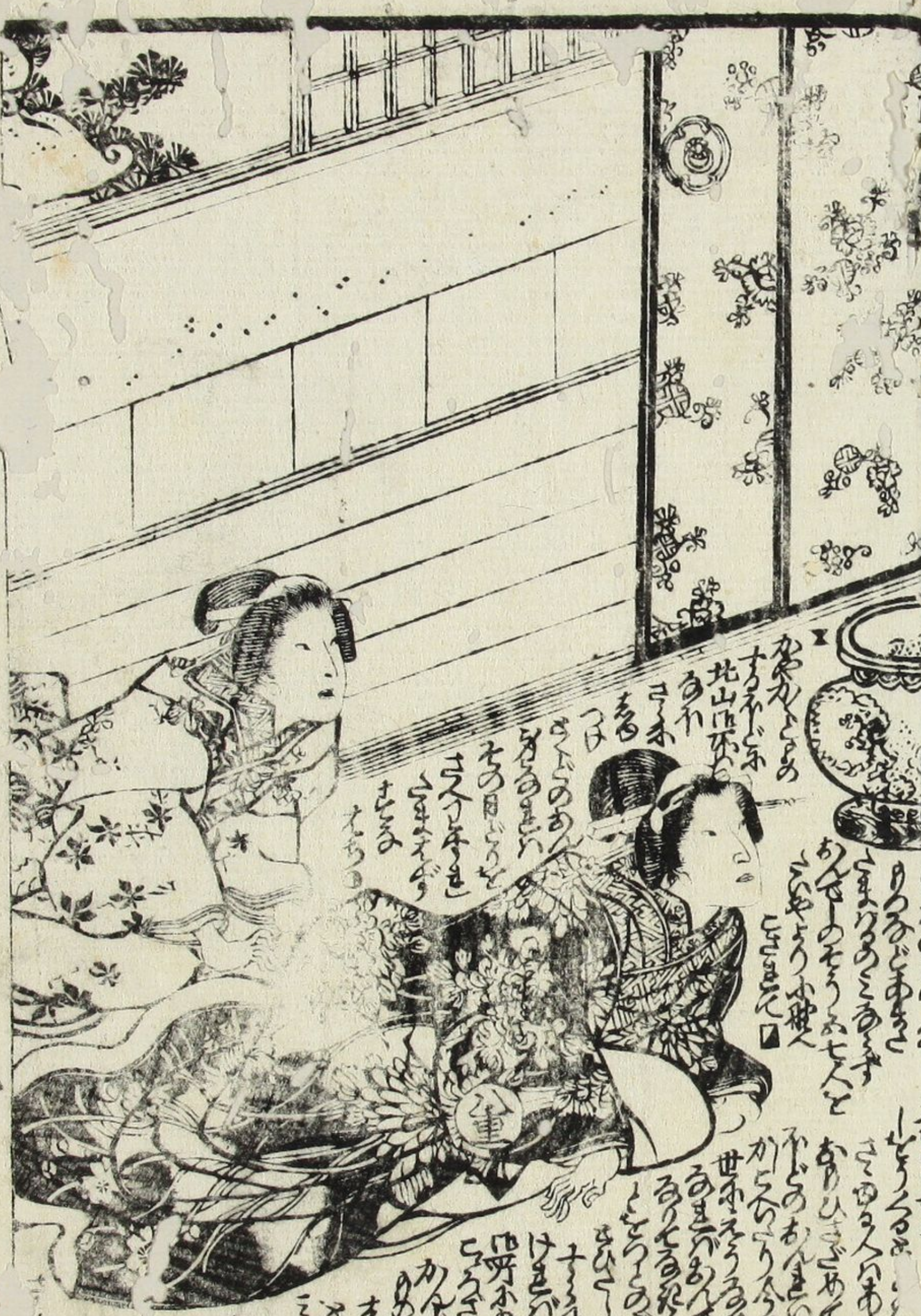
見平
知五の後
大納言通方卿
儒者

足
將軍
義澄公

佛者
好で中華の書と讀
和方連方の業とる子宗祇
に新てことと學ぶ接
池田不隠道一夢菴
とりのまご四内
の衣と極て
長と巻一且
海と書一香と巻と号
て二巻と為して自
紀と作ると云

曲五内





おはつかい
北山は
あけ
さか
さか
その目
さか
さか
おはつかい
北山は
あけ
さか
さか

おはつかい
北山は
あけ
さか
さか
おはつかい
北山は
あけ
さか
さか



おはつかい
北山は
あけ
さか
さか

おはつかい
北山は
あけ
さか
さか
おはつかい
北山は
あけ
さか
さか

庚申春錦橋新堂

御藥 固齋散 大包代百銅 小包代三銅

精製 白妙 一包代 世二銅

清淨 精製 白妙 一包代 世二銅

寢小便大奇藥 一包代 三銅

美玉百人一首 中本形全一冊 女用文章入

紅梅百人一首 半紙本全一冊 女用文章入

源氏一猛圖會 全同 撰

雜鶴笹湯壽 紅摺 山東菴京山作 一冊 一陽齋書畫國畫

女用文章箱 中本形 全冊 東菴京山作

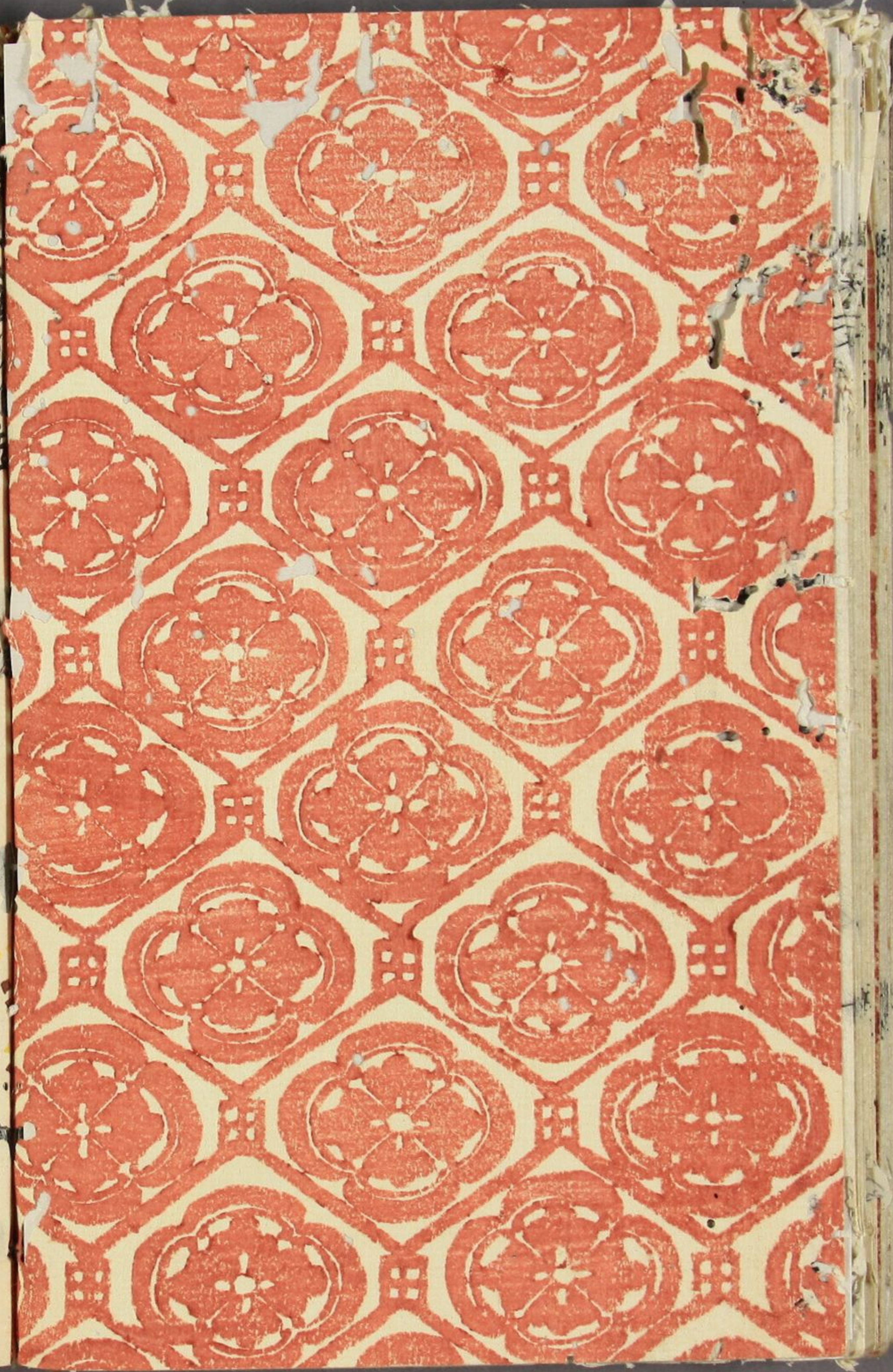
全 地本 錦繪 山田屋庄次郎

國貞画金水作

あはれ月小
かきこいし
さるがせある死
いとありそち
まこいそちの
月月の
さねとか
あつみ
あまそそ
さる



あはれ月小
かきこいし
さるがせある死
いとありそち
まこいそちの
月月の
さねとか
あつみ
あまそそ
さる



新門國貞傳

下題曲豆國貞

下の巻



綿橋

壽傳

Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a list or index, located in the upper left section of the page.



Vertical columns of handwritten Japanese text located below the person illustration on the left side.

Vertical columns of handwritten Japanese text located at the bottom left of the page.



金作 國

武 笑

手 登 光

何 如 絹



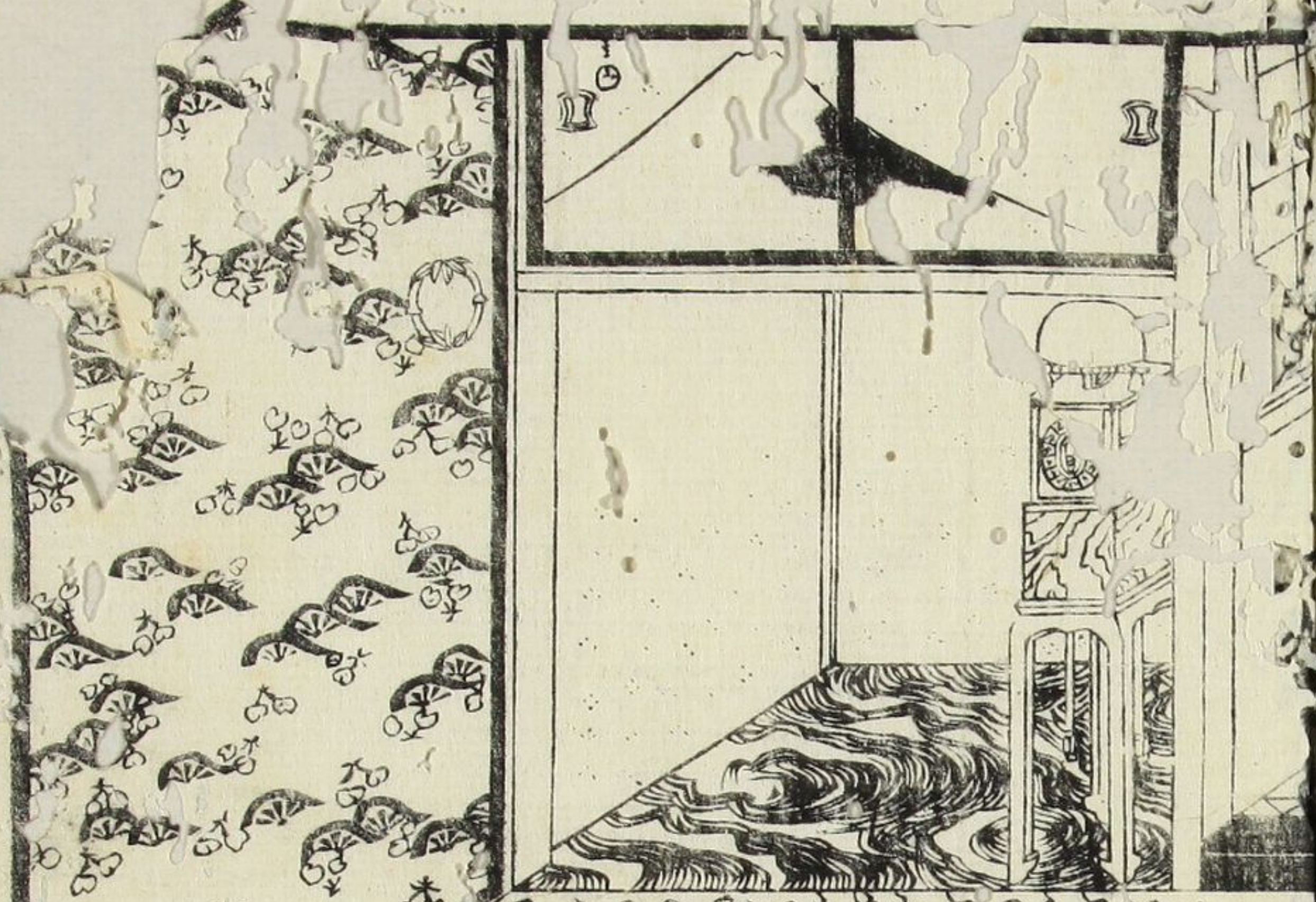
新 註

二十 編

下 乃

卷





Handwritten text in a cursive style, likely a diary or a collection of poems. The text is arranged in vertical columns, reading from right to left. The characters are small and densely packed.



Handwritten text in a cursive style, continuing the diary or collection of poems. The text is arranged in vertical columns, reading from right to left.

Handwritten text in a cursive style, continuing the diary or collection of poems. The text is arranged in vertical columns, reading from right to left.



Handwritten notes in the top section of the left page, including a small square symbol at the top center.



Handwritten notes at the bottom of the left page, continuing the text from the top section.

Handwritten notes in the top section of the right page.

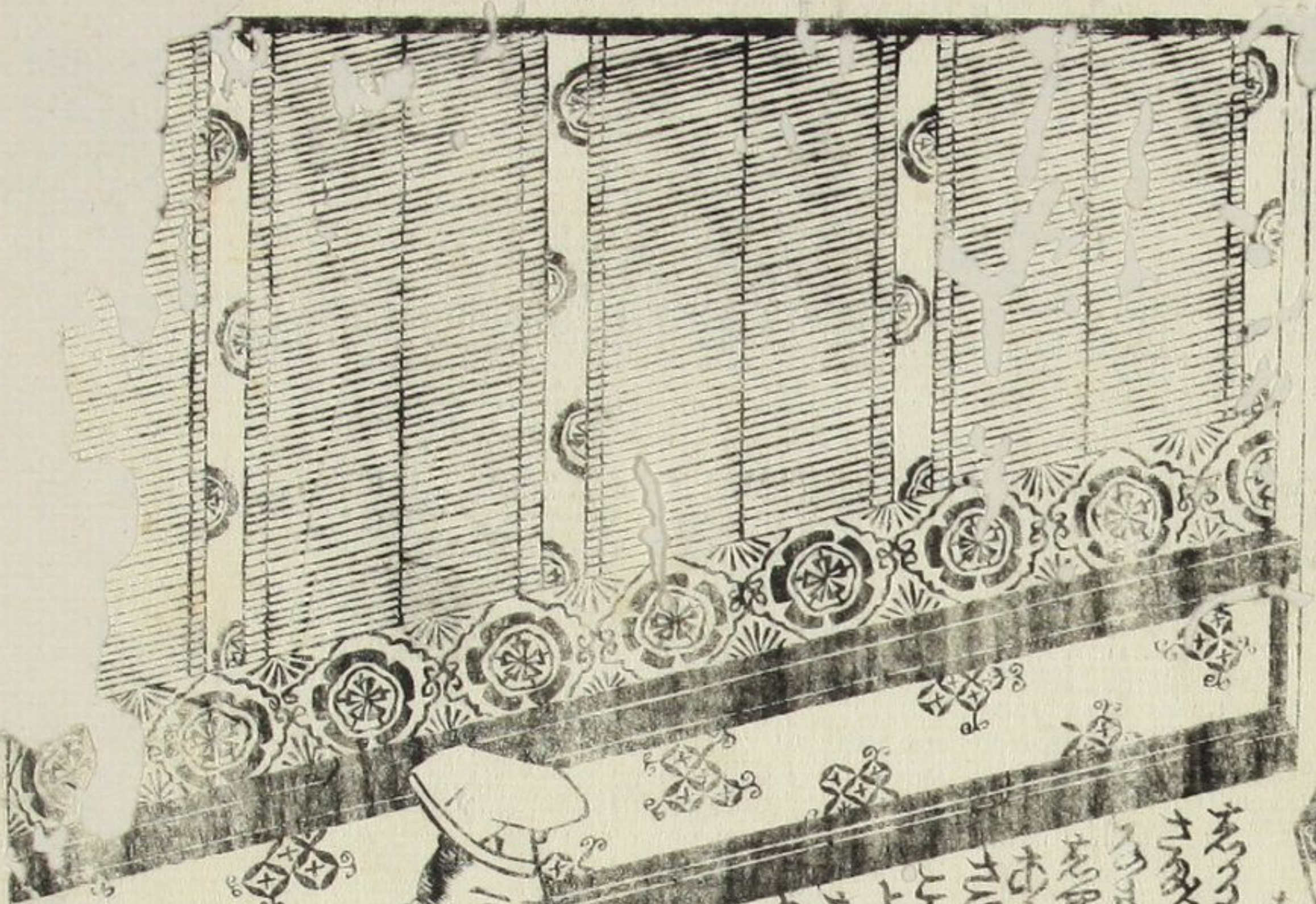


Handwritten notes at the bottom of the right page.

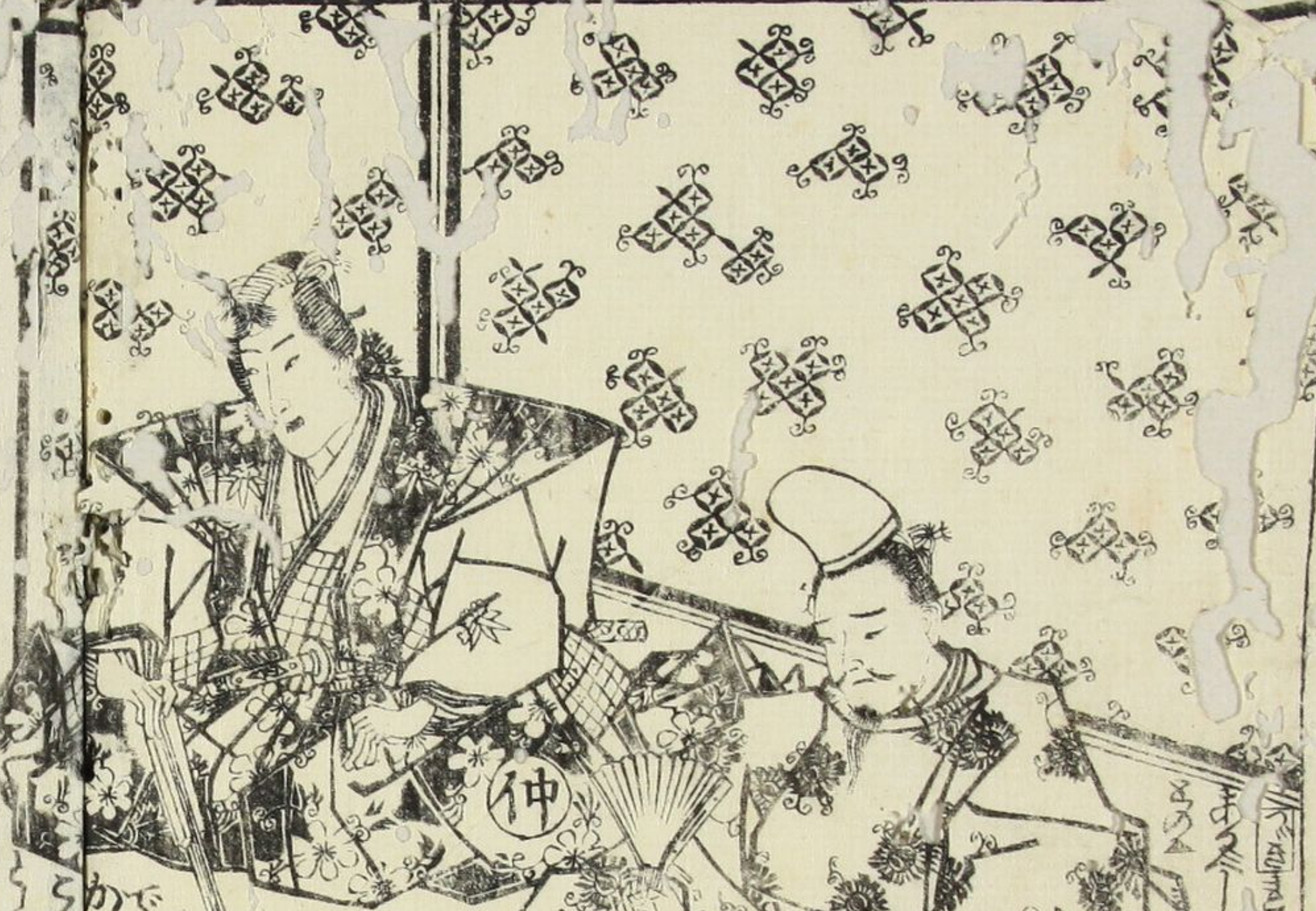
Handwritten text in vertical columns at the top of the page, likely serving as a title or introductory text for the scene below.



Handwritten text in vertical columns at the bottom of the page, providing commentary or dialogue related to the illustration.



Handwritten text in a cursive style, likely a transcription of a play script, surrounding the illustrations of the man and woman.



Handwritten text in a cursive style, likely a transcription of a play script, surrounding the illustrations of the man and woman.



松竹の
ついで
松竹の
ついで

ひさしの
ささる
かき
ついで
ついで

あつち
あつち
あつち
あつち
あつち

あつち
あつち
あつち
あつち
あつち

あつち
あつち
あつち
あつち
あつち

あつち
あつち
あつち
あつち
あつち

あつち
あつち
あつち
あつち
あつち

あつち
あつち
あつち
あつち
あつち

あつち
あつち
あつち
あつち
あつち

あつち
あつち
あつち
あつち
あつち

あつち
あつち
あつち
あつち
あつち

あつち
あつち
あつち
あつち
あつち

あつち
あつち
あつち
あつち
あつち

あつち
あつち
あつち
あつち
あつち

あつち
あつち
あつち
あつち
あつち

あつち
あつち
あつち
あつち
あつち

あつち
あつち
あつち
あつち
あつち

あつち
あつち
あつち
あつち
あつち

あつち
あつち
あつち
あつち
あつち

あつち
あつち
あつち
あつち
あつち

あつち
あつち
あつち
あつち
あつち

九

九

庚申初春錦橋堂新板目錄

敬草女房形氣

十九編 山東菴京山作
二十編 梅蝶樓國貞畫

新板端唄天津繪節中本

九編 万亭應賀作
十編 孟齋好寅画

伊賀越歌討物語

全 孟齋作
好寅画

養生手引草

全 孟齋作
好寅画

長壽

全 孟齋作
好寅画

庄 錦繪問屋
山田屋庄次郎



松亭金水著

梅蝶樓國貞畫





新古今の歌
十巻

海橋堂梓